

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
31410	環境経済局 経済部	商業サービス業課	課長	沖津 茂寿	042-769-9255
施策名	特色ある商業地の形成				

1 施策の目的

豊かな市民生活の実現に向け、多様な消費者ニーズに対応できる特色ある商業地の形成を図るため、商業・サービス業をはじめ、業務、文化、交流等の広域的な都市機能を備え、まちづくりと一体となった中心商業地（橋本駅・相模原駅・相模大野駅周辺地区）の形成を進める。また、それぞれの地域特性を生かした魅力ある商業地として、地区中心商業地（淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵地区）、近隣商業地（若松・相武台・南橋本・相原二本松地区）の形成も進める。

各地区では、「商業地づくり」のための基本構想・基本計画・街区別計画等を策定し、道路のモール化、街路灯の整備をはじめとする商業環境整備や再開発等による商業施設の誘導など、行政と事業者や地域住民が一体となったまちづくりを目指している。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- コミュニティーセンター（古淵にある「市場の駅」）整備事業に対して助成を行った。
- アーケードなどの整備に対する融資資金の一部を預託した。
- 魅力ある商業地整備を推進するために実施される研究会等にアドバイザーを派遣した。
- 快適な歩行空間を確保するため壁面後退を奨励し、壁面後退部分のカラー舗装に対して助成した。
- 特色ある商業地づくりのための「基本方針」や、「商業施設の誘導」について、開発者に説明するためのパンフレットを作成した。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 「壁面後退により確保された歩行者空間の長さ」については、建物の新築・改築や再開発が少なかったために、目標値を下回ったと考えている。街路灯の整備をはじめとする商業環境整備（ハード整備）による「特色ある商業地の形成」は概ね完了しており、今後は、新規整備から維持・改善に重心を移す必要があると考えている。
- 「購買力指数」については、市内において、まちづくりと連動した大規模商業施設の立地が少なかったことや、本市の周辺都市に新たに立地した大規模商業施設の影響などにより、ほぼ横ばいで推移し、目標達成に至らなかった。
- 商業環境整備（ハード整備）は概ね完了したものの、購買力指数の低下や通行量の減少が見られるなど、商業の活性化に至っていないため、施策の統廃合・再構築を行い、ソフト事業を中心とした施策を展開し商業地の活性化を図りたい。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆ 解決策があまりにも市民感覚とずれている。
- ◆ 施策への投入金額に見合った解決策を示すこと。

